

用語の説明

○**形式収支**・・・歳入決算額から歳出決算額を引いた歳入歳出差し引き額。

当該年度に収入された現金と支出された現金との差額。歳入決算額が歳出決算額を上回れば黒字決算であり、下回れば赤字決算となる。

○**実質収支**・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額。

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額。地方公共団体が黒字であるか赤字であるかは、一般的にこの数値により判断されることから、財政運営の健全性を示す重要項目とされる。

○**財政力指数**・・・地方公共団体の財政力を示す指数で、普通交付税の算定に用いる標準的な税収等の額(基準財政収入額)を標準的な支出の額(基準財政需要額)で除した数値の過去3年間の平均値。

財政力指数が高いほど、税収等の自己財源が多く、財政力が強いことを示す。

○**実質収支比率**・・・財政運営の健全性を示す指標であり、標準財政規模に対する実質収支の割合で、実質収支を標準財政規模で除したもの。

実質収支額が黒字の場合は比率が正数になり、赤字の場合は負数になる。

○**実質公債費比率**・・・従来の普通会計のみの起債制限比率に、水道、下水道などの公営企業が発行した地方債の元利償還金に対する繰出金や、一部事務組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等を参入したもので、地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず毎年度経常的に収入される財源のうち、地方公共団体の実質的な公債費による財政負担の程度を客観的に示す指数。

比率が高いほど財政運営が硬直化していることを示す。

○**経常収支比率**・・・地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率で、人件費、物件費、扶助費、公債費などの経常的経費に、地方税、地方譲与税、普通交付税などの経常一般財源がどれだけ充当されたかを示すもの。

○**標準財政規模**・・・地方公共団体の標準的な状態で予測される経常一般財源の規模をいう。平成19年度池田町は4,881百万円。